

令和4年度 学校評価
自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立浅羽野小学校
実施日	令和5年2月6日

〇「自己評価」及び「学校関係者評価委員会評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

〇「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B		B	市街化地域と農村地域との中間地域にあり、自然が共存した恵まれた環境にあることで、良好な教育活動ができています。保護者アンケートや学校自己評価(教職員)では、あいさつの項目で評価が低い。学校の特色としてあいさつを重点的に指導してはどうか。会議では毎回、学校長から詳しく学校運営方針等が示され、学校だけでなく要約が説明されています。保護者からの評価も高く、方針が浸透していることもわかりました。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	B	(詳細な)災害や不審者侵入時の危機管理マニュアルがないため、作成が必要。	B	改善策に詳細な災害や不審者侵入時の危機管理マニュアルがないとあるが、早急に作成が必要だと感じる。いつでも組織的・機動的に対応できる準備は必要と思われます。学童利用時の下校ミスが昨年度より増えている。大人の力に抗うことが難しい子供たちの安全・保護者の安心のためにも連絡帳の確認を徹底していただきたい。適切な対応への保護者からの評価も高く、校長の指導の下、組織として対応している様子が伺えます。担当が中心となり、適切に交通安全教室や一斉下校指導などが実施されている様子がわかりました。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(共通項目)	B	児童の実態があり、どのような児童に育てたいかという視点で全職員の意見を集約し行事の精選をするよい。教育課程検討委員会で全体がしっかりした意識で検討し、行事に反映したい。ノ一残業デーがあっても、持ち帰りや休日出勤をして業務をこなしている。本質の仕事量が多く、見直す必要がある。どこで時間を搾取されるかという、雑務や時間外の保護者対応によるもの。見直しをせず、不要な業務を慣例に習って残しているものを削除するべき。放課後の時間だけでは、事務的な書類作成や児童のプリント整理、教材研究等の時間が取れない。結局、持ち帰りや休日出勤を余儀なくされる。色々な面で見直しが必要。6校時後に会議等が設定されているため、業務が終わらない。勤務時間外の会議や仕事が多い。短時間で終わらせる工夫をしていくべき。ノ一残業デーが設定されても、仕事の量は減るどころか増えているので有効に機能させることは難しい。今年度は、50周年行事や人員不足の問題で特に難しかった。	B	大変多くの意見が出ていて、仕事の重さは変わっていないように思う。行事・会議の精選を図ることもなかなか難しいと思う。高学年の教科担任制に期待するが、人員を増やし、副担任を置くことで仕事を分担できるのではないかと感じる。自己評価で意見が多いことが気になる。大人の間関係を子どもは敏感に感じ取るので、改善策を早急に検討していただきたい。教職員自ら心身の健康を保持することは、日々接する児童にとっても大切なことだと思います。現場の多忙化が叫ばれ、有効な解決策も困難な様子ですが、可能な限りでの働きやすい職場環境の構築を期待しています。
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。(市共通項目)	B	毎回同じ教諭が授業研を担当し、やらない教員は経験不足となり質の低下が危ぶまれる。これから先を考える上では若手を育てていかないといけない。	A	若手教員と経験年数のある教員がお互いの授業技術のよさを学び合い、取り入れていくことで、授業の質を上げていくことが大切だと思う。授業参観の折に拝見しているだけですが、とても感銘を受けています。授業参観では、いろいろな工夫や熱心な指導を見ることができ、子どもたちも落ち着いて授業を受けていた。教える「内容」も大事だが、「教え方」も大事だと思う。子供達が集中するための工夫を期待したい。毎回の参観では、落ち着いた授業を見学することができました。学ぶことが楽しいという教育活動への保護者の評価も高く、日々の授業研究に努めている様子がわかりました。
	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B		B	2項目目の「関連付けながら」は記憶力に良い効果が期待できる。「教科」という範囲だけではないジャンルを横断した教え方を工夫して欲しい。朝会や学校たより等、学校長自ら人権意識を醸成する教育に努めています。思いやりの心を育てる教育について、保護者の高い評価も見られました。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	あいさつに関しては、できない児童も多くなってきているように感じる。言葉使いに関しては、教員と児童が友達関係のような言葉でやり取りする様子も見られるので、自分も含めて気を付けたい。直接関わっている児童が特性が強くて難しいということもあるが、課題が大きいと感じる。個々には伸びている児童もいるので、特性に配慮しつつ、引き続き指導していくしかないと思う。	B	あいさつや言葉遣いについては、振り返りアンケート結果を見てもあまりできていない。性格や家庭教育によると思う。近くの集合場所でも、気持ちのいいあいさつをしてくれる児童もいるが、多くが返事も帰ってこない状況で淋しい。コミュニケーションの第一歩として大切なことを教えていきたい。家庭への働きかけも必要だと思う。コロナ禍にあっての指導など大変な思いをされている教職員もいる一方で児童たちもマスクの着用、黙食による給食などストレスが生じる中でしっかりとした指導は大変だと思います。自分からあいさつする子が減ってきていると感じる。言葉遣いやあいさつは大人が見本となっていく必要があると感じます。「先生や友達の発表をしっかりと聞き」は、大事な局面で集中させることが大切だと思う。今集中するべき時に声掛けするなどメリハリのある授業の工夫があるとよい。毎回の訪問時、どの学級でも落ち着いた雰囲気や学習態度が見られました。あいさつ、言葉遣いについて職員の間からは、さらなる向上に努める声を知りました。
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意欲的に取り組んでいる。(市共通項目)	B	校長の推薦図書がとても良く、日ごろの指導の参考になっている。定期的にいろいろなジャンルを紹介してくださっている。	B	教職員の方々においても日常生活上、いろいろな事情を持ち、複合的な要素などあり非常に厳しい状況にあると思われますので、風通しの良い環境づくりに努めていただきたい。日常的に、学校長自ら積極的に教職員に関わる姿勢を感じました。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切にできる態度で接している。	B	個に応じた支援を要したとしても、現状支援員の人数が足りない。児童は多様化し、発達障害傾向があるとされる児童が増えてきているように見受けられる。しかし、1学級の児童数から見ても個別の支援が難しい現状であると思う。	B	個に応じた支援を必要とする児童は増えていると思う。人員を増やすことで個別支援をしたり、少人数学習をしたりすることができる。解決策の1つだと思う。保護者からの評価も高く、「さん」付の励行など、細やかな実践の継続が行われています。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	クラスごとの温度差は否めないが、先の項目についてはいずれも取り組みができていていると考えた。	B	
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	B	トイレを中心に、壊れていて使いづらい。学校環境として、生活で必要となる箇所の老朽化しているところの早期修繕をして快適化してほしい。トイレや建具など。古いものが多い。教室の清掃用具が古いものが多いと感じる。掃除がしやすいように、道具を整備してほしい。(予算がないのは承知していますが)	A	外壁が大変きれいになり、浅小・浅中と美しくって誇らしい。中も廊下・階段の張替えで、危険箇所もなくなった。次は、水飲み増・トイレを改修し、清潔感のある居心地の良い環境を目指せたらと思う。掃除用具がきれいできちんとしていると、掃除をするときの心構えにも通じますので、用具はしっかり整えることが大事です。清掃用具を丁寧に扱う評価が高く、環境整備面にも配慮されています。あらゆる場所に、多くの児童作品が掲示されることは情操教育面からも効果的であり、落ち着いた雰囲気にも通じてよりよい教育環境が形成されていると思います。
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	B		B	学校だけでなく、様々な教育活動の報告や学校長の運営方針が丁寧にさて隠されています。また、学校行事を広く公開し、保護者の95%以上からも「できている」の高い支持を受けています。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B		B	学校運営協議会や防犯パトロールなどを通じて地域の子供たちの安全を目指している。地域人材の継続的な活用や下校見守り、防犯ボランティアの盛んな様子は、地域住民としても感じています。
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B		B	